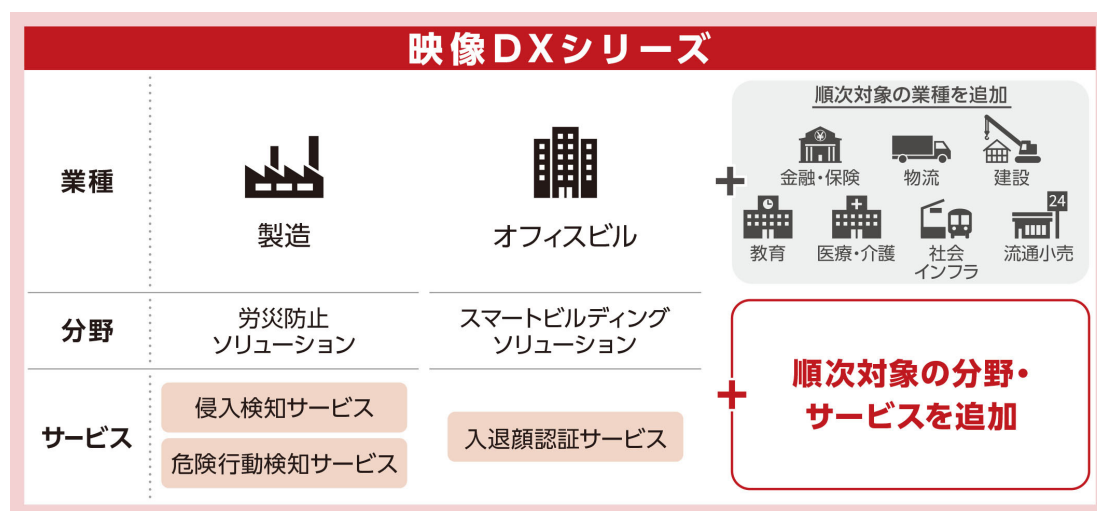


現場の課題を映像とAIで解決する「映像DXシリーズ」に
工場・オフィスビルの分野でソリューションを拡充し提供開始

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：足立正親、以下キヤノンMJ）は、キヤノンの映像技術とAIを活用した「映像DXシリーズ」に製造業における工場向け労災防止ソリューション、オフィスビル向けスマートビルディングソリューションを追加し、2023年6月中旬より提供を開始します。今後も対象分野とサービスを拡充し、お客さまの業務プロセス変革を支援するとともに、より安心・安全な社会の実現を目指していきます。



映像DXシリーズ 新サービス

近年、企業では労働力不足などの社会課題を背景に生産性をより一層向上させることが求められており、多くの企業ではITを活用した業務の効率化や省力化などを進めています。このような状況の中で映像データの領域では、ネットワークカメラを監視用途だけでなく、人が行っていた業務をカメラに代替させることで、さまざまな業種において映像DXが進んでいます。

製造業においてはESG経営が重視されるなか工場の生産性向上と安全管理による労災防止に課題があり、一方でオフィスビルではより高度なセキュリティシステムの構築による情報管理のスマート化などの課題があります。

キヤノンMJは、カメラ事業で培った光学技術とAIを組み合わせ現場の課題を解決する「映像DXシリーズ」を展開しています。このたび労災防止ソリューション、スマートビルディングソリューションを拡充し、企業のDXの推進を支援します。本ソリューションは、ネットワークカメラなどのデバイス群とAIを活用したサービスの提供だけにとどまらず、さらに運用支援までをパッケージ化することで高品質なサービスを提供します。

1. 製造業における工場の生産性向上と安全管理を支援する労災防止ソリューション

● “侵入検知サービス”

本サービスは、カメラ単独で設備を常時監視するだけでなく、アクシス社製ネットワークカメラ^{※1}をAIカメラ化する独自の技術により映像を活用することで人のみを検知可能にします。人以外にも反応し誤検知となる従来の検知センサーの課題を解決します。さらに生産現場に設置されている表示灯やPLC^{※2}と連携し製造装置を制御することで、巻き込まれ事故などによる労災を防止し、従業員の安全支援に貢献します。事故発生による作業中断や遅延による関連コスト発生の抑止にも貢献します。

※1. 対象機種は別途キヤノン公式HPに掲載。

※2. PLC (Programmable Logic Controller)、生産機器や設備などの入力/出力間を制御する装置(コントローラ)

